

## メキシコ：電力の自由化政策によって再エネ市場への投資が活発に<sup>1</sup>

新エネルギー・国際協力支援ユニット  
新エネルギーグループ

メキシコでは一連のエネルギー自由化政策により、再生可能エネルギー産業にブームが訪れている。

メキシコ議会は昨年12月、新たなエネルギー自由化法案を可決し、エネルギー市場の抜本的改革に踏み切った。新しい法律は75年間続いた国有企業による石油・ガス・電力の独占体制に終止符を打ち、エネルギー事業への民間参入に大きく門戸を開くものである。これまで民間による発電は小規模発電や自家消費の場合などに限って許可されていた<sup>2</sup>が、新法ではこの規制が撤廃され、発電・送配電事業への自由な参入が認められる。

新法のもとで、現在連邦電力委員会（CFE）の管轄下にある国家エネルギー管理センターは独立の機関となる。同センターは今後、国内送電網の管理、電力卸売市場の運営を任せられ、民間企業が送電網と送配電事業に公正にアクセスできるためのオープンな環境を提供しなければならない。

2月末の報道によれば、メキシコ議会は目下エネルギー市場改革に向けた具体的な規則案の作成に取り組んでおり、今後数週間以内に投票による採決を行う見通しである。Pedro Coldwell エネルギー大臣は、自由競争の導入によってエネルギー部門への投資が活発化し、国の電力部門は2030年までに80%の成長が見込まれると述べた<sup>3</sup>。

エネルギー市場改革により、再エネの分野では今後大規模な商業プロジェクトが増えることが予想される。風力発電部門を見ると、スペインの金融グループ Santander 社と風力発電機大手の Gamesa（Gamesa）社は今年3月初め、メキシコに計500MWの風力プロジェクトを共同で開発するための協定を結んだ<sup>4</sup>。同プロジェクトはメキシコのオアハカ（Oaxaca）州に立地し、今後3年間かけて建設される。オアハカ地域では、ほかにもスペインの再エネ企業 Renovalia 社が138MWの風力ファームを建設する計画を進めている。再エネ補助金の大幅な削減に直面するスペインでは、電力最大手の Iberdrola 社が主な投資先を国内から国

<sup>1</sup> 本稿は経済産業省委託事業「国際エネルギー使用合理化等対策事業（海外省エネ等動向調査）」の一環として、日本エネルギー経済研究所がニュースを基にして独自の視点と考察を加えた解説記事です。

<sup>2</sup> 1992年の法改正により、民間の参入は以下の場合に限って許可された：(1) 自家発電およびコジェネレーション、(2) 小規模発電（30MW以下、ただし僻地などでの独立電源は1MW以下）、(3) 国営電力企業への売電を目的とした発電

<sup>3</sup> <http://www.windpowermonthly.com/article/1282666/mexico-promises-leap-wind-power-capacity>

<sup>4</sup> 協定は Open Season II プロジェクトを巡る交渉の中で締結された。

外にシフトさせているが、メキシコは英国に次ぐ重点地域に挙げられている。スペイン以外では、イタリアの Enel Green Power 社が昨年 11 月、102MW の Sureste I 風力ファーム（フェーズ 2）を着工した。

太陽光発電（PV）部門も活況を呈している。GTM Research は昨年 12 月に発表したレポート<sup>5</sup>の中で、現在のメキシコ PV 市場の状況を 5、6 年前の米国カリフォルニアに例えた。同レポートによると、メキシコでは現在、計 219MW の大規模 PV プロジェクトが計画段階にあり、今年の累計設備容量は昨年の 60MW から 4 倍の 240MW に増える見通しである。国内企業では、昨年 9 月にメキシコの投資企業 Gauss Energia 社がポルトガルの Mantifer 社と共同で、バハ・カリフォルニア州の La Paz に現段階で中南米最大（30MW）とされる PV プラント<sup>6</sup>を開業した。

メキシコは新興国の中でも比較的政情が安定しており、インフレや通貨危機といった経済のマイナス要因も少ない国の一つとされる。今回の電力市場改革により、メキシコの再エネ市場は内外の投資マネーが集まるホットスポットとなりそうだ。

お問い合わせ : report@tky. ieej. or. jp

---

<sup>5</sup> <http://www.greentechmedia.com/research/report/latin-america-pv-playbook>

<sup>6</sup> 30 MW Aura Solar I プロジェクトは総工費 1 億ドル。国際金融公社（International Finance Corp.）と Nacional Financiera SNC bank からの融資を受けて建設された。